

2020 年度宮崎中央地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

一市一町からなる本協議会は約7,120haの水田を有し、早期水稲1,700ha、普通期水稲860haが作付されており、転作作物では飼料用稲1,827haが作付され、管内の畜産農家と耕畜連携が確立されている。水田の有効活用として、二毛作の飼料作物、WCSの作付が近年増加傾向にある。その他、胡瓜、ピーマン、トマト等の施設野菜も産地として確立されており、広域で作付されている。また、これに併せて露地野菜の振興も行っている。米穀においては、県内に大規模な需要がある加工用米の振興を行っており、生産性向上による単収向上を図りながら、安定供給を目指していく。また併せて、飼料用米の作付面積を維持していく。

一方、農業者の減少・高齢化に伴い、耕作放棄地が増大してきており、意欲と能力を有した「担い手」が核となる力強い農業の確立が必要となっている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

全国の民間在庫量は安定供給水準に近づいてきているが、消費の減少等により、米情勢は厳しい状況にある。こうした中で需要に応じた売れる米づくりに取り組むことが必要となる。単収向上や業務用米の取組により、農家所得の向上を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

多収品種による県連スキームの取組みで所得向上を目指す。また、管内養鶏農家との契約も引き続き行っていく。

イ 米粉用米

需要開拓を図りつつ、多収品種の導入による生産性向上を行いながら作付を推進する。

ウ 新市場開拓用米

新たに市場を開拓する上で、農家所得を確保しなければ安定的な供給や、販路拡大は困難である為、生産性向上の取組み等により品質・単収の向上に努め積極的に新市場開拓を図る。

エ WCS 用稲

これまでに確立されてきた耕畜連携の維持・拡大を図るために、引き続き適正管理の上、推進を行う。

オ 加工用米

県内の大規模な需要に良品質米を安定的供給するため、産地交付金を活用し加工用米作付者の生産性向上に向けた取組を支援し、高品質・低コストの生産を促進する。

カ 備蓄米

買上価格等を注視しながら生産者への情報提供を行う。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆は適正管理の徹底や共同調整による品質向上を図り、面積の維持を図る。飼料作物は、飼料用稲の後作及び飼料作物同士の二毛作の推進を図り、管内畜産農家への安定供給、水田の有効活用を継続して推進する。

(4) そば、なたね

水田活用の直接支払交付金及び畑作物の直接支払交付金を有効に活用し、需要者との結びつきの強化、良品質作物の安定供給を図る。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

施設野菜は産地として確立されており、さらなる品質向上や「安全・安心」の消費者ニーズに応じた栽培を産地交付金の活用をしながら推進する。また、高齢者対策や不作付地の活用として露地野菜の推進を図り、地産地消の観点から直売所の有効活用を促す。

(6) 宮崎中央地域重点品目（野菜等）

広域6地区からなる宮崎中央地域では、露地作物の重点品目として、各地区から計28品目を抜粋し、令和元年度作付面積137.0haを令和2年には作付目標183.8haへ拡大を図っていく。

施設園芸作物は15品目を抜粋し、令和元年度作付面積319.5haを令和2年には作付目標355.1haへ拡大を図っていく。

特に最重点品目の位置づけである地域振興作物、「スイートコーン」、「露地にがうり（ゴーヤ）」は、令和元年度作付面積17.1ha（スイートコーン11.1ha、露地にがうり6.0ha、）を令和2年には作付目標22.3ha（スイートコーン12.0ha、露地にがうり10.3ha、）へ拡大し、ニーズの高い産品の産地化を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2,600.8	2,560.2	2,294.7
飼料用米	67.2	59.1	93.2
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	17.6	16.4	30.0
WCS用稲	1,792.3	1,823.3	1900.9
加工用米	208.0	221.7	247.6
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	16.5	17.5	12.4
大豆	0.9	0.9	2.5
飼料作物	1,642.8	1,725.3	1,682.0
そば	0.1	0.3	0.3
なたね	0	0	0.1
その他地域振興作物	510.0	501.3	561.2
野菜	473.6	466.8	498.5
・スイートコーン	11.1	10.9	12.0
・露地にがうり	6.0	6.4	10.3

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				【2019年度】	【2020年度】
1	スイートコーン 露地にがうり	地域振興作物助成 （基幹）	作付面積拡大 (ha)	17.1	22.3
2	露地作物	重点露地作物助成 （基幹）	作付面積拡大 (ha)	143.2	183.8
3	施設作物	施設園芸作物助成 （基幹）	作付面積拡大 (ha)	349.7	355.1
4	加工用米	加工用米生産性向上 加算（基幹・二毛作）	作付面積拡大 (ha)	208.0	247.6
			単収 (kg/10a) 向上	459	495
5	飼料用米	飼料用米生産性向上 加算（基幹）	作付面積拡大 (ha)	67.2	93.2
			単収 (kg/10a) 向上	647	560
6	新市場開拓用米	新市場開拓用米生産性 向上加算（基幹・二毛作）	作付面積拡大 (ha)	17.6	30.0
			単収 (kg/10a) 向上	469	491
7	新市場開拓用米	新市場開拓用米集積 （基幹・二毛作）	作付面積拡大 (ha)	17.6	30.0
			単収 (kg/10a) 向上	469	491
8	飼料用米 米粉用米	複数年契約加算 （基幹）	飼料用米 取組面積 (ha) ・数量 (t)	—	62ha・322t 【2022年度】
			飼料用米 作付面積 (ha) ・数量 (t)	67.2ha・314t	69ha・359t 【2022年度】
			米粉用米 取組面積 (ha) ・数量 (t)	—	0ha・0t 【2022年度】
			米粉用米 作付面積 (ha) ・数量 (t)	0ha・0t	0ha・0t 【2022年度】
9	そば・なたね	そば・なたね助成 （基幹）	作付面積拡大 (ha)	0.05	0.3
10	新市場開拓用米	新市場開拓用米助成 （基幹）	作付面積拡大 (ha)	8.4	30.0

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。